

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	158.19	1.0707	169.33	1.2511	0.6543
SYD-NY High	160.24	1.0733	171.60	1.2548	0.6587
SYD-NY Low	154.40	1.0689	166.37	1.2497	0.6522
NY 5:00 PM	156.35	1.0722	168.40	1.2534	0.6567
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,386.09	146.43	日本2年債	-	-
NASDAQ	15,983.08	55.18	日本10年債	-	-
S&P	5,116.17	16.21	米国2年債	4.9778%	▲0.0135%
日経平均	-	-	米国5年債	4.6409%	▲0.0443%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.6105%	▲0.0515%
シカゴ日経先物	38,350.00	▲ 40.00	独10年債	2.5265%	▲0.0460%
ロンドンFT	8,147.03	7.20	英10年債	4.2880%	▲0.0360%
DAX	18,118.32	▲ 42.69	豪10年債	4.4970%	▲0.0350%
ハンセン指数	17,746.91	95.76	USDJPY 1M Vol	10.50%	▲0.50%
上海総合	3,113.04	24.41	USDJPY 3M Vol	9.87%	▲0.39%
NY金	2,357.70	10.50	USDJPY 6M Vol	9.79%	▲0.29%
WTI	82.63	▲ 1.22	USDJPY 1M 25RR	▲0.85%	Yen Call Over
CRB指数	295.30	▲ 1.54	EURJPY 3M Vol	9.80%	▲0.18%
ドルインデックス	105.58	▲ 0.36	EURJPY 6M Vol	9.72%	▲0.25%

東京	アジア時間のドル円は158.19レベルでオープン。前週末の流れを引き継ぎ底堅く推移すると、東京休日で流動性の薄い中、午前中に急伸し一時160円超えをタッチ。しかしすぐに159円台後半まで押し戻されると、今度は昼頃から大きく下落する展開。日本銀行による円買い介入と思しき急な動きにドル円は155.01まで下げたが、本邦財務省の幹部は為替動向に対し「今はノーコメント」と発言。その後は徐々に下げ幅を縮小し、157.18レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、157.18レベルでオープン。円市場が休場につき薄商いの中、再び一方的な売りが続き、154.40まで下落する。警戒感からクロス円とともに上値が重い展開となるも、155円を割ったところからもみ合いとなり、じわじわと反転。結局156.25レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は158円台前半でスタート。東京市場は休場の中、円売りの流れが優勢となり、一時大台の160円台に乗せ、160.24を記録する。しかし、その後は本邦当局による為替介入と思わしき行動を受け、154.40まで急落。円買い一巡は徐々に買い戻しが入り、156.25レベルでNYオープン。本日は注目の米経済指標の結果発表を控えていない中、午前中は低下していた米金利が戻す展開を横目に、ドル円は156.88まで上昇。午後は一時155.05まで売られる等神経質な値動きを見せる場面もあったが、米金利高の展開が支えとなり反発し、156.35レベルでクローズ。一方、海外時間のユーロドルは1.06台後半でスタート。1.0733まで上昇する場面もあったが、その後は欧州株安や、独金利が低下する動きが上値を抑え、1.0714レベルでNYオープン。午前中は1.0691まで値を下げるも、その後は米金利が上昇幅を縮小する動きを受け反発し、高値の1.0729まで値を戻す。午後は小幅反落し、1.0722レベルでクローズ。

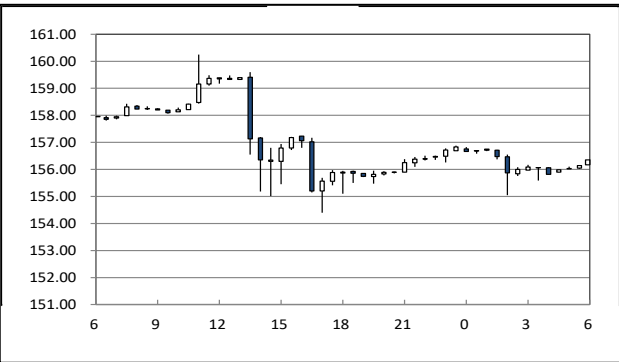
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月26日	08:30	日 東京CPI/コア/コアコア	4月 1.8%/1.6%/1.8%	2.5%/2.2%/2.7%
	-	日 日銀金融政策決定会合・政策金利	4月 0.00% - 0.10%	0.00% - 0.10%
	15:30	日 日銀総裁記者会見	-	当面、緩和的な金融環境が継続
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	4月 77.2	77.9

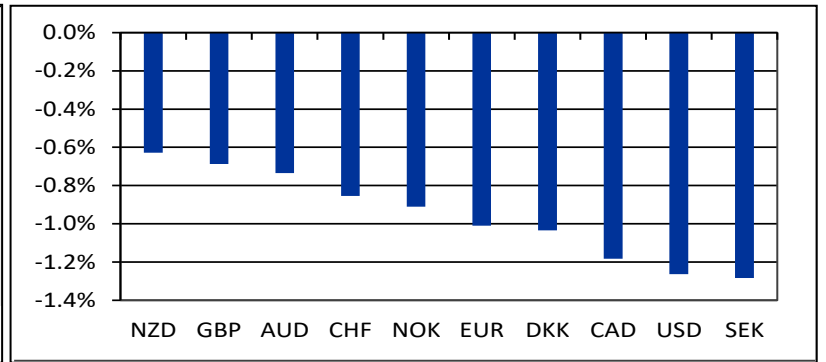
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月30日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	3月 0.2%	0.3%
	15:00	独 小売売上高(前月比)	3月 1.4%	-1.7%
	17:00	独 GDP(前期比)・速報	1Q P 0.1%	-0.3%
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)	4月 2.4%/0.6%	2.4%/0.8%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)	1Q A 0.1%/0.2%	-0.1%/0.1%
	21:30	加 GDP(前年比/前月比)	2月 1.1%/0.3%	0.9%/0.6%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	4月 104.0	104.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	155.00-160.00	1.0650-1.0780	166.00-170.00

【マーケット・インプレッション】

4月26日のドル円は大幅上昇。日銀金融政策決定会合の結果は特段のサプライズなく、ドル円は上昇で反応。その後行われた植田日銀総裁による会見にて、円安容認もとられる質疑応答をきっかけに円を売る動きが加速、海外時間に入ってもほぼ一本調子で円安となり、158円台でクローズ、ドル円は記録的な上昇となった。東京祝日の4月29日においても通常の営業日対比流動性に乏しい中海外勢による円売りから円安は加速、ドル円は一時160円を抜けた。その後、断続的に大きくドル円が下落があり、金曜日の東京時間クローズ近辺から30銭程度円安の水準でクローズ。

本日のドル円はボラタイルな値動きの中、上昇を予想する。29日の円買いについて神田財務官は「ノーコメント」との発言をしているなか、為替介入が実施されたかは確定的ではないものの、行われたと考える向きは強い。FOMCを経るまでは日米金利差を意識する向きが大勢であり、GW中でもあり流動性が限定的な中再び160円を目指す動きとなると考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。